

郵政民営化情報システム検討会議

第2回ワーキングユニット（システムの現状等） 議事概要

日時：平成16年10月22日（金） 13:58 ~ 15:50

場所：郵政民営化準備室内有識者会議室

日本郵政公社からの説明

- ・ 会計システムについて
- ・ 総合的な財務関係情報システムについて
- ・ 民営化に伴う財務会計システムへの影響

会議メンバーからの主な意見等

- ・ 持株会社・各事業会社が分社化当初から独立したシステムをそれぞれ構築しなければならないということを当然視すべきではない。
- ・ 汎用的なパッケージを導入し、カスタマイズするのだから、税務対応はそれほど困難ではないのではないか。
- ・ 政省令が固まらないと概要設計が開始できないということはないのではないか。法案が固まれば開始できる部分が多いのではないか。
- ・ 対応に当たっての想定ステップ数や想定スケジュールだけを見せられても検討の範囲は限られる。現在3年を想定しているシステムについて例えば2年半でやるとしたら、どのように基本設計（構造）と開発プロセスを変更する必要があり、その結果どのようなリスク・影響が出てくるのか、といったことを示してもらえれば、その妥当性について議論が深められる。

今後の進め方等

- ・ 前回及び今回のワーキングユニットについては、次回の本会合において事務局からその概要を報告させていただく。
- ・ 次回のワーキングユニットは来週後半を予定。ベンダーにも立ち会っていただいて、いつもより長めの時間をかけて現状把握を終わらせたい。